



五嶋 映司議員

財政計画について

問 合併を進めるときに住民に約束した10年間の財政計画と、今議会に提案された今後10年間の新しい財政

計画は、異質と思われるほど大きく違っている。市長はどう考えているのか。

市長 一つ目は、この計画を立てた後、三位一体の改革がなされ、地方交付税等が大幅に減額されたこと、二つ目は、合併協議会で財政計画を作成するうえで合併後の諸要因を推計したものと、現行に格差があった。

問 投資的経費が570億円から370億円と200億円も減っている。合併させることによって三位一体の改革が出来るということ

市長 まず快適な道路網の整備が必要である。次に、松橋駅を中心とした周辺地区を整備して、魅力ある宇城市としての再生を図り、活性化を図っていききたい。

市長 不知火町地区の協議会は駅西ブロック協議会として、新たに松橋町地区を駅東ブロック協議会として、組織を作っていくと考えている。

宇城市の将来像について



益田 和成議員

問 宇城市として風格、市らしさを醸し出すには、交通ネットワークの整備が必要であり、宿泊施設あるい

はスポーツ施設、文化・教育などが必要であろうかと思う。市長も同様の考えを主張されていたが、その後の進捗状況は。

市長 行政改革、財政改革、意識改革の三つの大改革を実行する中で、より住民の期待に沿い、サービス低下が起らないようにしていきたい。

問 住民の目線に立って、住民といっしょに行政の組

向きの回答をいただいている。それと併せ、民活による熊本空港までのシャトルバスを走らせたいと、現在要請をしている。

また、地域活性化インターチェンジの整備促進に対しても、簡易インターチェンジということでサービスエリアから直接既存の道路に降りるシステムを国土交通省で検討されているところであり、そういうものを活かしながら道路公園等と交渉に入ってみたいと思っ

健康立市への具体的な取り組みについて



中村 友博議員

問 松橋駅周辺開発問題について市長の考えを。

市長 松橋駅は市の玄関口であり、重点施策の一つと

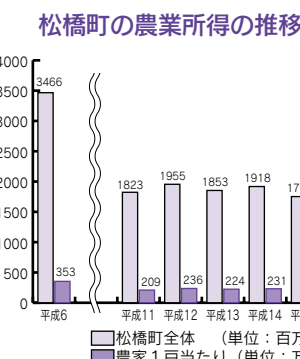
ことよって、飛躍的な市の発展に繋がると思う。宇城市総合計画に駅周辺事業の10カ年の事業費が30億円示されているが、予算的に高架事業しか反映されていない。区画整理や商店街の活性化を促進する全体的な計画が必要と考えるが、現時点で総合的な計画立案を示すことはできないのか。

市長 全体的な計画を出すことについても、すべて行政がやるということは、今の環境からでは無理だろう

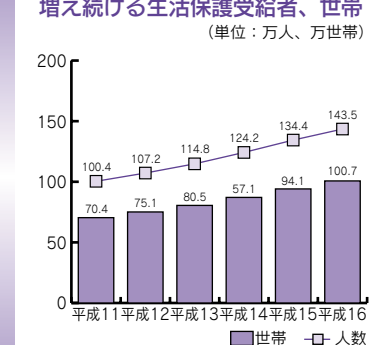
問 市の生活保護世帯数の推移はどうなっているのか。福祉部長 平成10年150世帯、平成11年147世帯、平成12年151世帯、平成13年164世帯、平成14年188世帯、平成15年186世帯、平成16年191世帯である。

問 今の社会情勢を反映している。ぜひ対策を早急に講じていただきたい。

市長 特定調停、個人再生法の肩代わりを行政サイドでできるか、検討させてい



松橋町の農業所得の推移



問 農業に対する市長の将来像を尋ねる。農業政策面で力を入れて、農家の活性化

増え続ける生活保護受給者、世帯

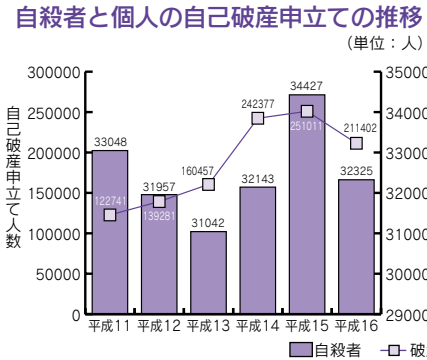
●この質問要約は、発言者の責任の基に質問の要旨を掲載しています。(発言順に掲載)



緒方 幸一議員

混迷深める社会情勢の中で

問 市の自殺者の推移は。市民部長 過去5年間の自殺者数は、平成11年17人、



平成12年11人、平成13年14人、平成14年13人、平成15年13人、計68人となっている。

問 市の生活保護世帯数の推移はどうなっているのか。福祉部長 平成10年150世帯、平成11年147世帯、平成12年151世帯、平成13年164世帯、平成14年188世帯、平成15年186世帯、平成16年191世帯である。

問 今の社会情勢を反映している。ぜひ対策を早急に講じていただきたい。

健康立市への具体的な取り組みについて